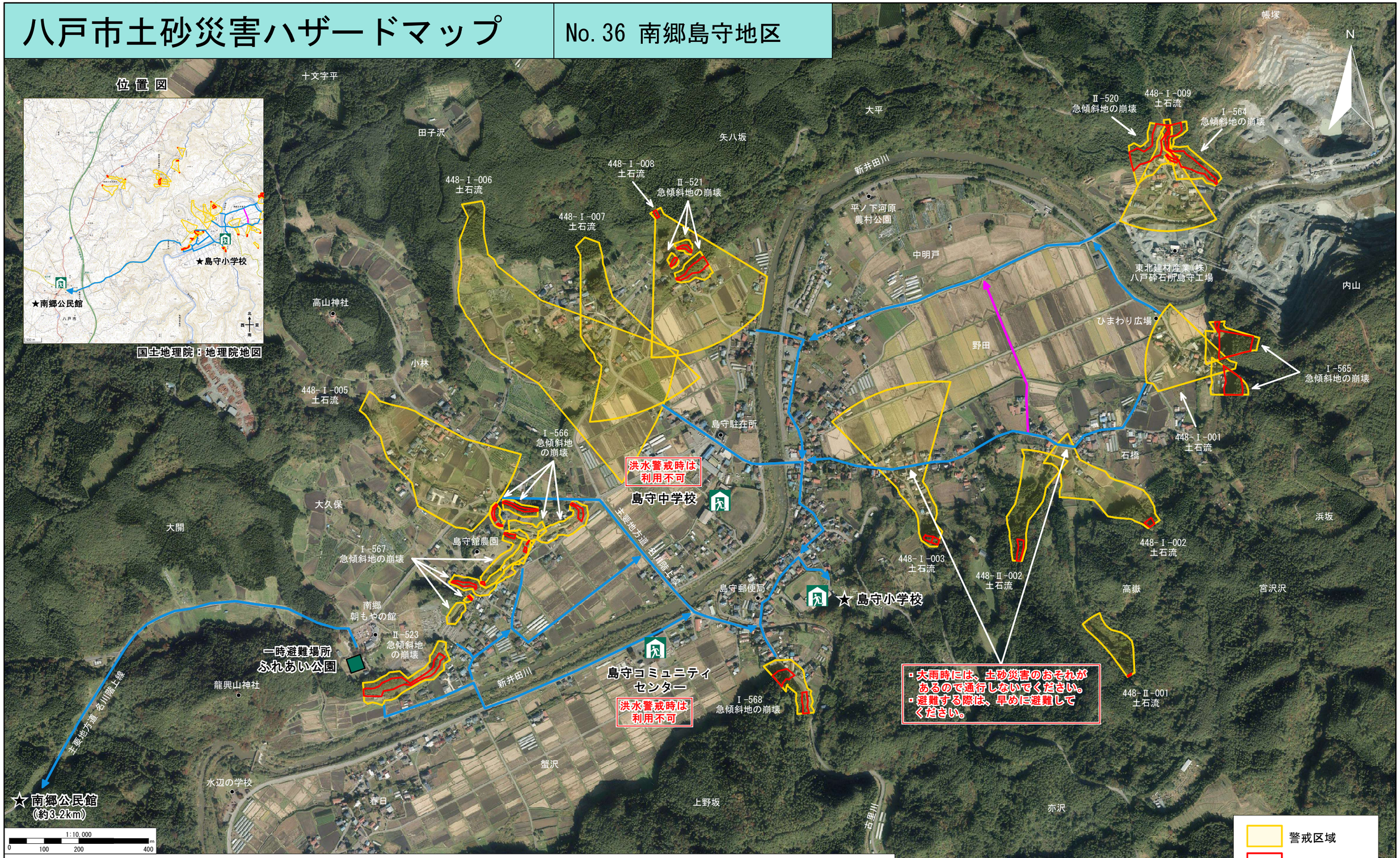
八戸市土砂災害ハザードマップ

No. 36 南郷島守地区



○黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

○赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。

・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。

・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

・★マークの指定避難所は、土砂災害の恐れがある場合に、最初に開設する避難所です。それ以外の指定避難所は、最初に開設する指定避難所のみでは避難者を収容しきれない場合など、災害の状況に応じて随時追加して開設します。

令和３年２月改訂

土砂災害に備えて

問い合わせ先　■八戸市市民防災部防災危機管理課　　電話：４３-２１４７
（土砂災害警戒情報、避難情報に関すること）
■八戸市建設部港湾河川課　　電話：４３-２１３７
（現地警戒に関すること）

○ 土砂災害は短時間豪雨や長雨などの大雨に伴って発生しますが、急傾斜地のどこでいつ起きるかを正確に予測することは困難です。
○ 土砂災害が発生するおそれがあるときは、テレビ、ラジオ等の最新情報に注意し、非常持出品を持って速やかに安全な場所に避難してください。
○ いざというときに備え、避難場所やそこまでの経路を確認しておきましょう。
○ 土砂災害の危険から身を守るのはあなた自身です。

八戸市

①土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう！（表面参照）

②雨が強くなってきたら、雨量情報、予報、警報情報を入手しましょう！

○ テレビやラジオ等の天気予報などで気象情報を確認しましょう。
○ 雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう。
・最新の天気予報、注意報、警報についての問い合わせ：青森地方気象台
電話：０１７-７４１-７４５９（自動応答・２４時間対応）
インターネット：http://www.jma-net.go.jp/aomori/
○ 八戸市安全・安心情報システム「ほっとスルメール」に登録すると、大雨や土砂災害の情報をメールで入手できます。またホームページでも情報をご覧いただけます。
携帯電話からは　http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/mobile/
パソコンからは　http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/
○ スマートフォン用の専用アプリはこちらからダウンロードできます。
http://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/smartphoneApplication.html

③前兆現象を見つけたら消防、市役所、町内会長へ連絡しましょう！

がけ崩れ

地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急がけ地や斜面が突然崩れ落ちることです。地震によって起こることもあります。突発的に起こり、瞬時に崩れたり落石があるので、逃げ遅れた場合、死傷者がでる割合が高くなります。

こんなときは赤信号！

○ 斜面の途中から水が急に湧き出してくるとき。
○ 斜面からバラバラと小石等が落ちてくるとき。
○ 石垣や擁壁にずれ、盛り上がり、亀裂があるとき。

土 石 流

谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水といっしょになって、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

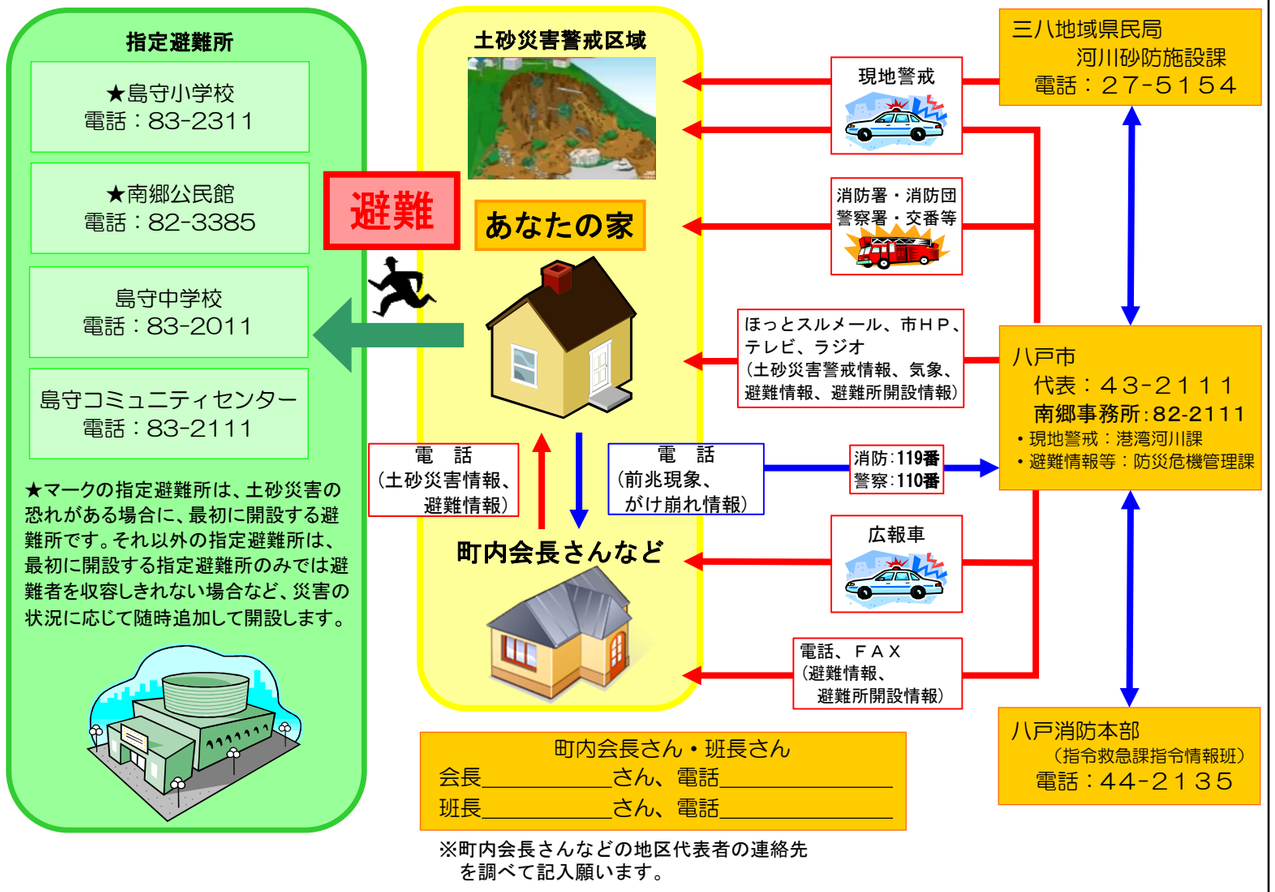
こんなときは赤信号！

○ 流木の裂ける音や巨礫の流れる音が聞こえるとき。
○ 渓流の流水が急に濁りだしたり、流木などがまざっているとき。
○ 降雨が続いているにもかかわらず渓流の水位が急激に減少しはじめたとき（上流で崩壊した土砂により流れが止められているおそれがある。）

④避難勧告などの連絡があったらすぐ避難しましょう！

⑤避難のときにはこんなことに気をつけましょう！

○ 避難場所へ避難する際には、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域（浸水するおそれがる区域）を避けた避難経路を選択しましょう。
○ 危険斜面から直角方向に避難し、できるだけ斜面（崖）から離れましょう。



わ が 家 の 防 災 メ モ

避難する場所	
連絡をとる相手	